

# 梁フランジ接合部の実大継手引張試験(荷重1200トン) ～低温引張試験～

大型試験機で実構造物(建造物など)を模擬した試験を行います。

## 梁フランジ接合部の実大継手引張試験の概要

柱梁溶接接合部を一方向単調引張負荷を受ける突合せ溶接継手試験体に模擬し、引張試験を行います。大型試験機(12MNおよび20MN級)を用いて低温引張試験を行い、破壊応力等を評価します。試験温度は-196℃まで対応できます。

## 建築構造用鋼材の実大継手引張試験

試験片形状を図1に、試験片外観を写真1に示します。梁フランジの長手方向に応力勾配を付けて溶接継手部で破断させる形状です。溶接部周辺を冷却槽で覆い所定の温度に保持し低温試験を実施します。試験片の荷重・ひずみ・変位等を測定し、破壊応力等を算出します。

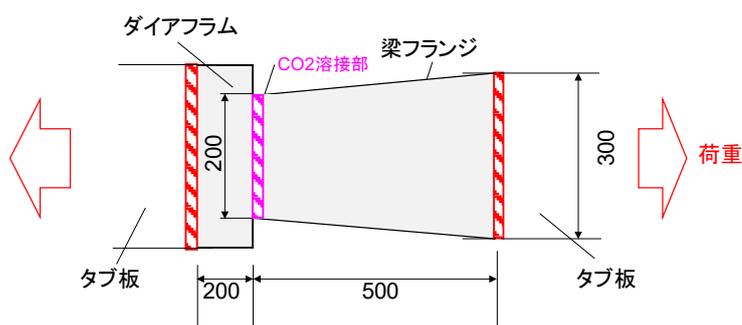


図1 試験体形状



写真1 試験体外観

## 引張試験後の状況

破面写真(写真2)、破断後の試験片突合せ外観(写真3)を示します。



写真2 試験片破面



写真3 破断後の試験片突合せ外観

